



産地の紹介

舟橋村は富山県のちょうど中央に位置する、日本一面積の小さな村です。富山市から地方鉄道で15分というアクセスの良さから、近年人口が増加し続ける、自然と利便性が両立した場所です。



舟橋村の主要産品

舟橋村では、立山連峰からの伏流水と県内でもっとも災害の少ない立地を活かし、米を中心にしながら、ほかにもネギや葉物、根菜など幅広い作物の生産に取り組んでいます。2019年からは「農業ブランディングプロジェクト」がスタート、「ハートかぼちゃ」「ほっぺたトマト」などの産品を打ち出しています。



求める人材像

舟橋村では現在40軒強の生産者が農業を営んでいます、その多くが高齢を迎え、村の農業の担い手が必要とされています。私たちは以下のような方のご参加を期待しています。

- ①農業に対して熱意、意欲のある方
- ②舟橋村もしくは近隣地域に居住できる方
- ③心身ともに健康で積極的に活動できる方
- ④農業経営に関心があり、農業を通じて舟橋村の将来を盛り上げたい方
- ⑤自身の生活資金について用意があり公的な補助を必要としない方

就農までの流れ

下記は一例ですが、一般的にはこのような流れで就農までのステップを進んでいただくことになります。

就農相談

研修

就農準備

就農

支援体制について

就農に際して、以下の団体、制度がサポートいたします。

■団体 舟橋村担い手育成支援協議会

＜構成員＞

- 1)舟橋村生産者：研修の受け入れ、技術指導
- 2)JAアルプス：営農指導、資金等の相談
- 3)舟橋村生活環境課・農業委員会：就農相談、補助制度の活用、農地の取得、移住の相談、住居などの支援
- 4)富山県富山農林振興センター：就農、補助制度、資金等の相談

■主な支援制度

- 1) 農業次世代人材投資事業：準備型（国補）
 - ・就農予定時の年齢が原則50歳未満の場合、150万円／年を交付します。
 - ・研修期間は1年間、または2年間です。
- 2) 農業次世代人材投資事業：経営開始型（国補）
 - ・独立・自営就農した時の年齢が原則50歳未満の場合、最大150万円／年を経営開始後5年まで交付します。
 - ・所得に応じて減額され、前年の所得が350万を超えると交付されません。

問い合わせ先

舟橋村担い手育成支援協議会事務局（生活環境課） 連絡先：076-464-1121